

宮崎県にて大規模太陽光発電設備を受注

2015年4月2日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 中尾 清)は、パシフィコ・エナジー株式会社(代表取締役社長 金當 一臣)が宮崎県にて計画している大規模太陽光発電設備プロジェクトを受注しました。発電容量は96MWで、完成は2018年春を予定しており、全量九州電力株式会社に販売されます。

TOYOは既に、パシフィコ・エナジーが進める大型太陽光発電設備を2件(岡山県久米郡(32MW)及び同県美作市(42MW))の建設工事を遂行中であり、これに本案件が加わることで合計170MWの大型太陽光発電設備プロジェクトをパシフィコ・エナジーから受注したことになります。地球環境保全の観点から、再生可能エネルギーは今後も重要な役割を担うことが期待されており、TOYOはインフラ事業の一環としてこれからも取り組んでまいります。

受注概要

- 客先: パシフィコ・エナジー細江合同会社
(GE エナジー・フィナンシャル・サービスとジェミソン グループの共同出資による事業会社)
- 受注者: 東洋エンジニアリング株式会社
- 建設地: 宮崎県宮崎市細江
- 対象設備: 太陽光発電設備(96MW)
- 役務内容: 対象設備に関する設計、機器資材の調達、工事、試運転の一括請負
- 完成時期: 2018年春

<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113